

日本最古の保健保安林 「鹿公園」の歴史



JR追分駅から西に約500メートル、日本最古の保健保安林の中にある「鹿公園」は憩いの場として親しまれ、最近ではキャンプ人気もあいまって、町外から来園者も増えています。

普段何気なく鹿公園の前を通り過ぎている、散歩をしているという町民の皆さんに、鹿公園の歴史を知って、より親しみを持っていただけたらと思い、この特集を企画しました。

鹿公園の歴史

明治23年に北海道炭砒鉄道室蘭線・夕張線の建設工事が行われる以前、追分地区（当時は植苗村）は原生林だったそう。鉄道の建設工事に伴い、無人地帯であったこの地に工事関係者が移住してくるようになりました。明治30年制定の旧森林法に規定された公衆衛生林が根拠となり、明治35年に日本最古の保健保安林として現在の鹿公園周辺が指定されます。指定されたことで当時のまま残され、現在に至っています。

